

JIS

建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム

JIS A 9526 : 2022

令和 4 年 12 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	勝 俣 英 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	萩 原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	山 田 剛	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	吉 田 可保里	T & T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成元.11.1 改正：令和 4.12.20

官 報 掲 載 日：令和 4.12.20

原案作成協力者：日本プラスチック工業連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル TEL 03-6661-6811)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
5 品質	3
6 試験	4
6.1 吹付け硬質ウレタンフォーム原液の試験	4
6.2 吹付け硬質ウレタンフォームの試験	4
7 検査	6
8 表示	6
9 吹付け硬質ウレタンフォーム原液製造業者から吹付け硬質ウレタンフォーム施工業者へ提供する情報	7
附属書 A (参考) 原液使用標準様式例	8
附属書 B (参考) 簡易密度試験方法	9
附属書 C (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	11
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 9526:2017** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 5 年 12 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 9526:2017** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム

Spray-applied rigid polyurethane foam for thermal insulation

1 適用範囲

この規格は、主として建築現場での断熱施工及び工場で生産する断熱製品に用いる、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム原液について規定する。

注記 この規格では、実際の施工を想定した一定条件の下で吹付け施工したときに得られる建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームの品質を特定することによって、施工業者等が建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム原液の、選択を容易にすることが可能である。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を、**附属書 C** に示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1324 建築材料の透湿性測定方法

JIS A 1412-1 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第1部：保護熱板法（GHP法）

JIS A 1412-2 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第2部：熱流計法（HFM法）

JIS A 9511 発泡プラスチック保温材

JIS K 7100 プラスチック－状態調節及び試験のための標準雰囲気

JIS K 7117-1 プラスチック－液状、乳濁状又は分散状の樹脂－ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法

JIS K 7117-2 プラスチック－液状、乳濁状又は分散状の樹脂－回転粘度計による定せん断速度での粘度の測定方法

JIS K 7220 硬質発泡プラスチック－圧縮特性の求め方

JIS K 7222 発泡プラスチック及びゴム－見掛け密度の求め方

JIS K 7225 硬質発泡プラスチック－水蒸気透過性の求め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

吹付け硬質ウレタンフォーム